

主催者挨拶

福島県知事
内堀 雅雄

皆さん、こんにちは。福島県知事の内堀雅雄でございます。

本日の「地域力の強化に向けた全国市町村長サミット 2021in 福島」はオンラインによる開催となりましたが、現在の私自身の率直な思いをお話しさせていただきます。

それは、嬉しさ半分、悔しさ半分です。今回のサミットが、市町村長の皆さん、自治体職員の皆さん、馬場地域力創造審議官を始めとする総務省の皆さん、福島大学の生源寺先生、コーディネーターの皆さん、そして分科会に参加される皆さん、こういったメンバーで開催されることは、非常に貴重な機会であり、大変嬉しく思います。

一方で、「本来であれば福島へ来ていただきたかった」、「皆さんにお会いしたかった」という悔しい思いがあります。皆さんには今、画面上で、私の顔が見えていると思いますが、残念ながら私からは皆さんの顔を直接見ることができません。新型コロナウイルス感染症の第5波がまだまだ油断できない状況の中で、オンライン開催はやむを得ないことではありますが、やはり悔しいです。感染症が落ち着きましたら、市町村長の皆さんを始め本日参加されている皆さんに、是非、福島の地に来て、見て、食べて、笑顔になっていただくことを期待しております。

サミットの開催にあたり、御挨拶をする機会をいただきました。私は皆さんと共に3つの大切なメッセージを共有できればと考えています。今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される大事な年でした。そこで、東京オリンピックにちなんだものを御紹介しながら、お話ししたいと思います。

まず1つ目は、こちらの東京オリンピックの聖火リレートーチです。

聖火リレーは福島県のJヴィレッジからグランドスタートし、47都道府県を巡りながら、最後は東京都庁前に聖火が届きました。その後、東京オリンピックの開会式で聖火台に赤々とした炎が灯されましたが、あの炎のエネルギー源は、未来のエネルギーとして期待



される水素でした。さらに、この水素は、原発事故以降の全町避難で苦しんでおられた、福島県の浪江町（なみえまち）で製造された「メイド イン 浪江」の水素エネルギーです。

東京オリンピックの聖火は、福島県内を巡った後、栃木県に託されました。その時、我々はこの聖火リレートーチに、あるメッセージと意思を込めました。

それは「感謝」、「ありがとう」という思いです。これが1つ目に共有したいメッセージです。

今年は東京オリンピック・パラリンピックの年であるとともに、東日本大震災・原発事故から10年が経過する節目の年でもありました。この間、私たち福島県や東北の被災地は、本日のサミットに出席されている皆さんや全国の多くの皆さんから「福島県、頑張れ。東北、頑張れ。」という温かい感謝のエールを頂いてまいりました。皆さんの激励の思いに心から「ありがとうございます」という感謝の思いをお伝えしたいと思います。

続いて2つ目、皆さんも見覚えがあると思いますが、東京オリンピック・パラリンピックでメダリストたちがメダルとともに掲げていたビクトリーブーケです。

このビクトリーブーケには被災3県の花が活用されています。宮城県のヒマワリ、岩手県のリンドウ、そして福島県のトルコギキョウとナルコランです。黄色いヒマワリは宮城、紫のリンドウは岩手、そして淡いグリーンは福島のトルコギキョウです。

このトルコギキョウの花言葉である「希望」、「ホープ」が2つ目に皆さんと共有したいメッセージです。

私たちは今、様々な困難や課題に向き合っています。特に福島県の場合は2011年以降、地震、津波、原発事故、風評被害、風化の加速、一昨年の東日本台風、今年2月の福島県沖地震、そして全国の皆さんと同様に新型コロナウイルス感染症に苦しんでいます。このような複合災害に向き合う中で大事なことは、未来に向かって希望を持つことだと思います。これまでの10年間、我々は復興への歩みを進める中で、一つ一つ課題を解決し、我々の努力を結果につなげてきました。「頑張れば叶う。」「努力すれば結果につながる。」その希望を持って、日々取り組むことが重要です。



最後に、3つ目に皆さんと共有したいメッセージは、希望を実現するために必要なことです。それは「挑戦」、「チャレンジ」です。

目の前にある難しい課題や逆境を乗り越えるためには、日々新しい挑戦を続けていかなければなりません。例えば、新型コロナウイルス感染症もそうですが、前例が無い難しい課題をどう乗り越える



か、失敗もありますが、様々な挑戦をしながら、課題を解決していくことが求められています。

先ほど福島県が苦しんでいる課題についてお話ししましたが、全国各地で次々に発生している自然災害、さらには、人口減少問題など各地域には様々な課題があると思います。だからこそ我々は挑戦、チャレンジを続ける、共に頑張るといった思いを共有することが大切だと思います。

以上、「感謝」、「希望」、「挑戦」、この3つのキーワードを皆さんと共有したいと思います。

本日のサミットの中で、様々な学びや気づき、発見があると思います。それを糧として、明日からそれぞれの自治体が前進していくという思いを共有できる、素晴らしいサミットになることを心から祈念して、私の挨拶といたします。

皆さん、本日はどうぞよろしくお願い致します。